



筑波大学 ヒューマンバイオロジー学位プログラム
適正技術教育 公開最終発表会 / ポスターセッション

APPROPRIATE TECHNOLOGY FINAL PITCH POSTER SESSION

@UNIVERSITY OF TSUKUBA SATELLITE OFFICE OF OPENED ON THE SECOND FLOOR OF BiVi

実施日時・場所

実施日時：2016年12月10日（土）
16:30~19:30（16:15開場）
実施場所：筑波大学サテライトオフィス（BiVi つくば2階）
〒305-0031 茨城県つくば市吾妻1-8-10 2階
地図URL：
<http://www.e-bivi.com/tsukuba/index.html>

見学参加方法（無料）

会場はお気軽に足を運んで頂けますようオープンに出入りができます。
どなたでも見学可能です。
お誘い合わせの上、お越し頂けますようよろしくお願い致します。
お問い合わせ担当者：浅野高光（株式会社ラーニング・イニシアティブ）
お問い合わせ先：takamitsu.asano@learning-initiative.com

ゲストコメンテーター

Corinthias P. M. Sianipar（バンドン工科大学経済経営学専攻、東京理科大学理工学研究科経営工学専攻）

バンドン工科大学経済経営学専攻、東京理科大学理工学研究科経営工学専攻に所属。現在、インドネシアを中心とした地域経済開発、地域共同体への権限付与や適正技術のデザインとエンジニアリングに関する研究に従事する傍ら、日本においてはシステム解析、システム工学や社会工学の研究にも取り組む。また、適正技術設計方法論（DMAT）の開発期間中には、適正技術の設計と開発プロセスを含む設計方法論の確立に取り組むチームのリーダーとして活躍する。さらに、アジア、アフリカ、南米を含む世界各国の適正技術に関するプロジェクトにも積極的に関わる。また、組織的な活動としては、トリプルヘリックス協会（トリノ、イタリア）、システム・ダイナミック学会（ニューヨーク、米国）や国際園芸学会（ルーヴェン、ベルギー）に所属する。



田岡祐樹（東京工業大学工学院機械系エンジニアリングデザインコース / 東京工業大学グローバルリーダー教育院所属）

2014年東京工業大学機械科学科卒、2016年同大学院にて修士課程終了。2012年See-D Contestへの参加をきっかけに、適正技術に関わる。東ティモール民主共和国への計3ヶ月弱の滞在や、フィンランド交換留学時にUNICEFと協力したプロジェクトに参加。現在は同大学院博士課程研究として、co-creationに関する研究を行うかたわら、See-D Contest運営や、株式会社ソニーコンピュータサイエンス研究所遠藤謙氏と東京工業大学国際開発サークル(IDAcademy)のメンバーとして、インドを中心とした発展途上国を主対象とした義足の開発に関わる。

原田義則（グローバル教育院 特命教授 連携教育研究アドバイザー）

2012年よりグローバル教育院 特命教授 連携教育研究アドバイザーとして筑波大学ヒューマンバイオロジー学位プログラムに所属、大学と産業界の連携の促進および大学における起業家精神の育成に従事する。職歴：筑波大学医学部教授（2007-2012）、株式会社日立製作所 研究員兼エグゼクティブプロジェクトマネージャー（1982-2007）、東京大学薬学部ティーチングアシスタント（1979-1982）、フランス政府支援国際留学生（1976-1979）。博士号：東京大学（1976）およびパリ第6大学にて取得。



Ph.D. Program in Human Biology
hbp.tsukuba.ac.jp/



筑波大学
University of Tsukuba



University of Tsukuba
School of Integrative and Global Majors
sigma